

令和6年度 第1回 学園運営協議会(議事録)

場所：自由ヶ丘中学校 大会議室

参加者：委員13名(荒木委員欠席) 学園Co 学園関係者10名 市教委(中村様 南様 堤参事 石川指導主事)

1 開会行事

- (1) はじめのことば(上野学園 Co.)
- (2) 委嘱状の交付(代表：自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 会長 高見様)
- (3) 学園運営協議会委員、学校職員、教育委員会の紹介(自己紹介) ※別紙参照
- (4) 「学びの丘学園」学園運営協議会運営要領(上野学園 Co.) ※別紙参照
- (5) 役員選出 ※別紙参照
- (6) 日程説明(事務局 教頭)

2 学びの丘学園 学園経営要綱および重点目標 等の説明 (事務局)

- (1) 学園経営構想 等の説明(西島校長) ※別紙参照
- (2) 自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会の重点取組等の説明(高見様)
 - ①まちづくり計画(自由ヶ丘の都市再生)：自由ヶ丘3丁目地区にバス停を設置
 - ②自由ヶ丘防災計画：宗像市と北九州大学が連携して、各自治体が主体となって行う予定
 - ③コミセン交流会：昨年度好評。今年度は、防災計画に特化して計画を立てるかもしれない。7月7日予定。
 - ④地域の活性化：子どもおとな会議・ジェンダー平等推進委員会を中心に
 - ⑤コミュニティ・スクールとしての活動の充実：学校の「ふるさと学習」への協力を継続していきたい。
- (3) 子どもおとな会議の本年度の取組予定(灘谷様)
今年度の予定は、コミセンの広報誌「ひろば」で知らせている。昨年度は大きく3つの活動に分かれて活動した。
【本年度】①「昨年度の継続活動班」と「第2期の子ども大人会議」の2つで活動していく
②高校生(東海高校)や大学生の参加を促し、小学生～大人が地域のことを考える会にしたい。

3 説明・熟議・・・【熟議】※進行... (副会長 占部委員、永見委員)

- 【説明】上野 Co ①3部会について ②学びの丘学園「サポーター制度」について
③地域での活動について(子ども大人会議・寺子屋・見守り活動)について

【熟議】

〈学び甲斐部会〉今年度立ち上げたサポーター制度の活用をしていくことが必要。制度を活性化していくために、サロン等の実施や制度の周知の仕方の検討などをしていく必要がある。

〈過ごし甲斐部会〉中高生の居場所づくり：人が集まらない。時間設定を少し早くする。相談事だけではなく、中高生が集まるきっかけとなるお菓子作り(5月26日)をする。それをきっかけに悩みも相談できる関係づくりができればと思う。

〈働甲斐部会〉昨年度、自由ヶ丘文化祭りの5年生の参加が学びにつながっている。祭りも大盛況でとてもよかったため、今年度もまつりを盛り上げる地域貢献をするための活動や中学生の関わりも増やしていきたい。

4 指導助言

福岡教育大学 教授 伊藤 克治 様：「目指す子供像の実現に向けた」取組という視点で熟議をしているのが素晴らしい。活動に参加する子供が増えないという課題については、悩んでいる子供たちが安心して過ごせるようにという目的を第一に考えて場の設定をするよい。小学生の頃から地域とのつながりがあると、中学生になって悩みをもった時に、コミセンに入りして「あの人と話してみたい」という思いをもてるのではないかと思う。子どもおとな会議については、子どもから大人まで含めるという点で価値がある。

「食育」をふるさとカリキュラムに含めていくという点は、切り口はいろいろあるが、この地域は豊かな活動をしているから、食育を通して何をを目指すのかをしっかりとっておく必要がある。地域も単なるお手伝いではなく、こんな授業ができそうだと話し合いができれば、本当の意味での「協働」になる。

宗像市教育委員会 指導主事 石川 聡 様：宗像市は、「食のまち宗像」という施策を出している。学校では、給食を通して地場産のものを食べることを増やし、食に興味をもてるようにしていきたい。1～9年生の学びの部分も今までやってきた学習を生かしながら充実させていきたい。学園運営協議会の中で、「カリキュラム」について話し合う計画があることが素晴らしい。学校の中だけで考えると、CSにはならない。地域と共に考えることが大切である。

5 連絡

- 次回開催の連絡 令和6年7月4日(木) 18:30～ 於：自由ヶ丘中学校 大会議室
- その他

青少年部会(永見委員)：5月11日に今年度初めての「なか森開放」の紹介。中学生が参加できるイベントの紹介。
わんぱく広場実行委員会(まつりでの出店) 寺子屋の紹介。

北野会長：1年生が入学して、今後学校行事も増えてくるため、見守りとご協力をお願いしたい。

6 閉会行事

おわりのことば(上野学園 Co.)